

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年8月28日
【事業年度】	第51期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	ムラキ株式会社
【英訳名】	MURAKI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古屋 文男
【本店の所在の場所】	東京都多摩市関戸二丁目24番地27
【電話番号】	042(357)5610(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 上中 良典
【最寄りの連絡場所】	東京都多摩市関戸二丁目24番地27
【電話番号】	042(357)5610(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 上中 良典
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月26日付をもって提出いたしました第51期事業年度（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部について訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するために有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 事業等のリスク

(5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況によるリスクについて

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

4【事業等のリスク】

(訂正前)

(5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況によるリスクについて

「継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況」において記載しております通り、当社には継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。詳細につきましては当該箇所をご参照下さい。当社は当該状況の解消を図るべく、「中長期的な経営戦略」を策定し着実に実行してまいりますが、本計画通り進捗しなかった場合は、予想していた収益が確保できない可能性があります。

(訂正後)

(5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況によるリスクについて

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、景気後退に伴い顧客のSSへ来店する頻度は減少し、ガソリン等自動車用燃料油の販売量が減少するに止まらず、燃料油以外(カーケア関連商品)の販売機会の喪失等、当社グループのカーケア関連商品卸売事業を取り巻くSS業界の市場環境は厳しい状況におかれております。

このような環境下において、売上高は平成15年以降継続的に減少し営業損失を計上しております。

当連結会計年度においても、19百万円の営業損失および100百万円の営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。

当該状況において、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。この状況を解決すべく、下記の取り組みを具体的に実施してまいります。

売上高の維持拡大

(イ) SS向け販売体制の再構築

SSの減少、SSにおける取扱い商品の絞り込みが大幅な売上高減少の要因となっており、営業体制の見直し、顧客ニーズに対応した商品企画提案により売上高減少に歯止めをかけます。

(ロ) 新規事業企画の推進

既存市場にこだわらずSS外にも目を向け、消費者ニーズに対応した販売商品の開発、販路の開拓など新しいビジネスチャンスとなる新規事業を企画推進します。本社部門の営業力を強化し、主力事業及び新規事業の活性化と推進力を高めてまいります。

コスト削減

全社的な経費削減運動を継続するとともに、コスト削減と資金繰りの改善を図ります。

(イ) 部門ごとに役割を明確にし、在庫削減並びに鮮度管理を本社主導で進めてまいります。販売計画に基づく商品仕入と、営業所の在庫管理の標準化により、過剰仕入による在庫多寡を防ぎ資金繰りの改善を図ります。

(ロ) 売掛債権の回収短縮化及び回収管理の徹底により、不良債権の発生を防止し資金繰りの改善を図ります。

(ハ) 採算及び発展性のない事業に関しては、縮小、撤退を進めます。ただし中期、長期的に発展性が見込まれる事業に関しては、主力事業の効率化を図り、経営資源投入を具体化し、事業の展開を進めてまいります。

キャッシュ・フローの改善

当連結会計年度から取り組み実施している在庫削減(当期実績は、341,116千円の削減)を実施いたしました。次期においても引き続き在庫削減、仕入ロス削減、さらに売掛債権の回収サイトの短縮、仕入先に対する差入保証金の解除(適正提供額の見直し)などにより資金確保を進めてまいります。

当社は当該状況の解消を図るべく、「中長期的な経営戦略」を策定し着実に実行してまいりますが、本計画通り進捗しなかった場合は、予想していた収益が確保できない可能性があります。